

■■■■ INDEX

ことば徒然 個別の指導

発音の誤りへの指導

■■■■■■■■■■

ことば徒然 個別の指導

ことばの教室での指導は、大半が1対1の個別指導です。
指導する内容が、一人ひとりちがうからです。
ことばの問題には、いくつかのパターンがあります。
しかし、発音の誤りや吃音といった問題をもつ子が、改善していく過程は一人ひとりちがいます。
複数の子どもを集めて指導できる内容ではないのです。
言語の発達の遅れが知的発達の遅れを招かないように指導するには、個別指導が必要です。

発音の誤りへの指導

単音レベルで正しい発音器官の運動を習得させます。

さらに連続音、ことばや文のリピート、音読、会話レベルでも正しく発音できるように、練習を重ねます。

連続音や無意味連続音の練習で誤りが出てくる場合、無理をして自発のネーミングをさせると、誤った発音になることが多いです。

それは、次のような理由からです

話そうとする内容は脳でつくられます。

そして、発音器官の動きがプログラミングされます。

このプログラミングは運動神経をとおり、発音器官の筋肉に送られ、話しことばとな

ります。

話す内容は意識的につくられますが、発音器官のプログラミングは、無意識の中でつくられます。

単音、無意味連続音では、新しい音として意識し、発音することができます。

3～4音程度を意識して発音することは、やさしいことです。

しかし、自発のネーミングや音読、日常会話になると、そうはいきません。

それまでの誤った発音器官の動きのままプログラミングされやすいのです。

そして、誤ったプログラミングのまま、発音器官に送られ、話しことばになるからです。

● ----- ●

漂泊鳥から

ゴールデンウィークが終わりました。

指導にも熱をいれて・・・。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.19

ことばのもり 2003.4.30

=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 発音の誤りから

吃音を軽減する指導

■■■■■■■■■■

ことば徒然 発音の誤りから

子どもも単音で出せるとわかれば、やる気がでてきます。
そして、新しい発音のパターンを親にもしてもらいます。
家で練習してもらい、そのパターンの定着を図るためです。
ところが初回に指導した方法では、定着しないときがあります。
新しい発音のパターンが定着せず、誤った発音のパターンに戻っているときがあります。
それは、今までの発音のパターン（誤った発音のパターン）の方が本人には普通だから
です。
発音するには、細かい、正確な協調運動が必要なんです。
舌の位置がほんの１～２ミリずれただけで、誤り音になります。
今までの発音のパターンがでてきて当然です。
こんなときは、家での練習の様子を聞いたり、練習中の録音テープを聞いたりして、練
習するように子どもを励まします。
それでも定着しないときは、理由をもう一度考え直します。
発音器官の運動パターンをもう一度観察します。
そして、仮説を立てて、新しい発音のパターンを練習していきます。
さらに、聴覚弁別の力をのばすようにします。単音、無意味連続音、ことばでも弁別でき
るように取り組んでいきます。

吃音を軽減する指導

苦手な場面への対応の仕方を指導します。
「明日、自己紹介するので緊張する」と話す子がいました。
「話さなければいけない」という思いと「話せなくなったらどうしよう」という思いで不
安なのでしょう。
その子に
みんなの前で話すのは、先生も緊張して夜も眠れないことがあること。
みんなの前で、何を話すかわずれてしまい、マイクを持ったまま立ちすくんだこと。
そんなことがあってからは、できる限りの準備をしておくようにしていること。
を話しました。

● ----- ●
漂泊鳥から

外国の日本人学校に行った先生からメールが届きます。

メールを読んでいると、自分が僻地に行っていた頃のことを
思い出します。

ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.18

ことばのもり 2003.4.23
=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 受けとめること

言語性を伸ばす指導 絵カードを並べて

■■■■■■■■■■

ことば徒然 受けとめること

発達の中で表現することについてまとめてみました。

人は、自分が表現したことを受け止められると、うれしいものです。

子どもの場合も、同じようにうれしいし、この人ならといった安心感も育ちます。

この安心感が新しいことにも取り組んでいこうかな、一度やってみようかなという
気をおこさせます。

しかし、子どもの周りにいる大人がいつもいつも答えられるわけではないでしょう。

兄弟もいます。

家族もいます。

家事や仕事もあるでしょう。

そんなときは、子どもと1対1で過ごす時間を決めて、その限られた時間にしっかり、
子どもの表現に答えることです。

家族で食事をするときに、子どもがねるときに、子どもと過ごせる時間に子どもの
話しに耳を傾け、答えることです。

子どもは、欲求を満たされることで、安心感をもち、それをエネルギーとして、
子どもは自立にむかうことができます

言語性を伸ばす指導 絵カードをならべて

「したこと おしえて」で
「～で ～を つくりました」の文型を学習した後、
絵カードを見せ、「で」「を」つかって文づくりをします。
「せっけんで てを あらいます。」
「つみきで おしろを つくります。」
「クレヨンで えを かきます。」
「はさみで かみを きります。」
「ぞうきんで つくえを ふきます。」
「あみで むしを つかまえます。」
「スプーンで アイスクリームを たべます。」
なにで なにを どうするの文型の習得をはかります。

● ----- ●
漂泊鳥から

教え子から「もしかして」とメールをもらいました。

うれしいものです。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●
=====

ことばだより No.17

ことばのもり 2003.4.16

=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 ことばの教室に

言語性を伸ばす指導 場面絵カードを使って

■■■■■■■■■■

ことば徒然 ことばの教室に

教室で指導している子は発音の誤りか、言語発達に問題のある子が大半です。
中に発達のバランスに問題をもつ子がいます。
発達のバランスに問題があるとは、
言語性と動作性、視覚認知能力と聴覚認知能力、同時処理と継次処理、知的発達と情緒
発達のバランスがわるいということです。
このことが原因で幼稚園の生活では、
全体への指示を理解できない、
一人はなれて、ちがうことをしている、
お話しに興味を示さない、
または理解できない。
友だちと遊ばないで、一人でいることが多く、呼びにいても、理解しない、
などといった問題をうみます。

言語性を伸ばす指導 場面絵カードを使って

場面絵カードを提示し、
「何をしていますか？」
と問います。
女の子が、切符を買って電車に乗ろうとしている場面の絵カードです。

「何を買っていますか？」
「切符をどうしているの？」
「だれが切符を買っていますか？」
と問います。

こたえたことばを書きだし、「が」「を」の助詞をならべて、文をつくります。
切符 買っています 女の子 が を

女の子 が 切符 を 買っています。

この後、電車を指差して

「なぜ切符を買っているの？」
と問います。

「女の子が 切符を 買っています。電車で 乗るためです。」

● ----- ●

漂泊鳥から

地下道に巣を作ったツバメの低空飛行のうまさに驚いています。

壁や人にぶつかりそうで、ぶつからない。

器用にスピードを落とすし、避けていく。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● -----

=====
ことばだより No.16

ことばのもり 2003.4.9

=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 聴覚認知より視覚認知

言語性を伸ばす指導 絵カードを使って

■■■■■■■■■■

ことば徒然 聴覚認知より視覚認知

自分は視覚認知がどちらかと言うと強いです。

聞いて分かることより、見て分かることのほうが多いです。

聞いているだけでは、理解できないことも、見ればすっきりと、理解できるときがあります。

学校のペンキ塗りだってそうでした。

プリントで説明を聞くよりも、実際に塗っているのを見るほうが、塗り方を理解できま

した。

パソコンだって、自分で画面を出して、いろいろ操作してみて、覚えてきました。
解説書を読むより、自分の指で、キーを打ちながらいろいろ試しながら、たくさんのこと
を理解しました。

最近、店屋さんの対応までマニュアルがあるといいます。

自分もきっと、その店の人になれば、人のするのを見て仕事ができるかもしれない。
しかし理解し、自分でできるようになるまで時間がかかるから、きつとりストラにあう
かな？

言語性を伸ばす指導 絵カードを使って

1年のこくご下の教科書に「くらべて せつめいしよう」と言う題材があります。

そのときに絵カードを使い、表現方法を学びます。

大小、長短、高低、多少関係を理解し、比較の表現を学びます。

共通点や似ているところを探し、表現方法を学びます。

ちがうところを探し、表現方法を学びます。

ぞうとありの絵カードをならべて

「ぞうは ありより おおきい。」

「ありは ぞうより ちいさい。」

「大きさを くらべると、大きいのは、ぞうの ほうです。」

「大きさを くらべると、小さいのは、ありの ほうです。」

子どもの筆箱にあるえんぴつや消しゴムを使い、背比べや大きさ比べなどもできそう
です。

えんぴつとクレヨンの絵カードをならべて

「えんぴつも クレヨンも かくときに つかいます。」

「えんぴつと クレヨンは、どちらも かくものです。」

「えんぴつで ノートに じを かき、クレヨンで がようしに えを かきます。」

● ----- ●
漂泊鳥から

入学式です。

今年はまだ桜が咲いています。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.15

ことばのもり 2003.4.2
=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 発音の誤りから
吃音を軽減する指導

■■■■■■■■■■

--

ことば徒然 発音の誤りから

--

指導の初期に、いくつかある誤り音のうちの、ひとつの音に集中して、改善へと取り組みます。

そのひとつの音を選ぶのは、以下の基準で選びます。

・発音を獲得する順番に従います。

なぜなら誤った発音のパターンを定着させないためです。

・誤りに一貫性のない音、被刺激性の高い音を選びます。

その音は、はやく改善するからです。

・本人や親が最も気にしている音、会話明瞭度を下げている音を選びます。

取り組みへの意欲付けのためです。

いよいよ指導が始まります。

はじめに、単音で正しく発音できるように新しい運動パターンを指導していきます。

そのためには、正しい見極めと多少の技術が必要です。

単音で発音できるということは、会話でも正しく発音できるようになる可能性を広げた

ことになります。

吃音を軽減する指導

句点なら「１」読点なら「１、２」と数唱させます。

慣れてきたら、首を前後に振り、声に出さないで、数唱させます。

それにも慣れたら、利き手の人差し指で、机をうって声に出さないでリズムをうたせます。

句読点までが長い場合には、区切り線を入れ、そこでも間を取るようになります。

さらに、漢字の読みがわからず、あせってしまう場合には、読み仮名を書くように言います。

そして、覚えたら消すように指示します

いっしょに音読し、吃音への不安を取り除きます。

さらに、いっしょに音読していた声を少しずつ小さくしていきます。

それにも慣れたら、もっと小さい声で、ハミングをし、音読をさせます。

１回目の音読を録音し、練習途中の音読を録音し、再生したのを一緒に聞きます。

音読がうまくなっていることを確かめます。

音読の内容が理解できることを評価し、自信を持たせます。

そして更なる練習への意欲付けをしていきます。

次のステップとして、完全読み、暗唱するというプレッシャーを少しずつかけていきます。

はじめは短めの段落から取り組んでいきます。

そして少しずつ長い段落に取り組んでいきます。

漂泊鳥から

開花宣言！！駅のホームの桜が咲き出しました。

いよいよ春ですね。

「はじまり」を感じます。

（実は、きのうが誕生日でした。）

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.14

ことばのもり 2003.3.26
=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 次へのやる気

言語性を伸ばす指導 絵カードをならべて

■■■■■■■■■■

ことば徒然 次へのやる気

音に誤りがあり、ことば数が少ない年長の幼児を指導しています。
発音への指導をしながら、ひらがなを教えていきました。
はじめは、ひらがなを行ごとに教え、読むことをねらいに指導していました。
一音ずつ読めるようになり、発音の誤りも改善してきています。
つづけて、列ごとに教え、文を読むこと、書くことをねらいに指導しています。
手本をノートの下において、ノートにうつる手本のひらがなを書く。
手本をノートの横において、ひらがなを書く。
これから、のぼっていくステップは多いです。
それでも、今日できたことを子どもに「できたね」「よくできました」「おぼえたね」と
声をかけます。
この声かけが次へのやる気につながるから・・・。

言語性を伸ばす指導 絵カードをならべて

理解言語はあるのに、あまり自分から話さない子に絵カードを使いながら、話しやすい
ように指導します。

その１ 答えを選択させる

例１ りんご、みかん、いちごの絵カードを見せて

「この中で、どれが好き？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・が好きか？」と問い直し、返事を待ちます。

例２ 家族の絵カードを並べて、「きょうは誰ときたの？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・と来たの？」と問い直し、返事を待ちます。

例３ 「ことばの教室に電車で来たの？自動車で来たの？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・で来たの？」と問い直し、返事を待ちます。

その２ 絵カードを見せて、「はい」「いいえ」を答え、想起させる。

運動会が終わったところに

玉入れやつなひき、徒競走、リレーの絵カードを見せて「こんなのした？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば、「・・・をしたの？」と問い直し、返事を待ちます。

● ----- ●

漂泊鳥から

３学期もおわりました。

ちょっとひとやすみ。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示版」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.13

ことばのもり 2003.3.19
=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 発音の誤りから

言語性を伸ばす指導 絵カードをならべて

■■■■■■■■■■

ことば徒然 発音の誤りから

発達とともに、正しい発音を獲得していきます。

しかし、小学校に入学しても、まだ発音に誤りが見られる場合には、何らかの指導を受ける必要があります。

いつまでも、「様子を見てみよう」と放置していると、発音の誤りは２次的な問題をつくるときがあります。

話の内容が伝わらないため、話すことを嫌がります。

発表することや音読を嫌がります。

遊び時間の活動が不活発になります。

自分の思いが伝わらないために情緒不安になることもあります。

より適切な時期に問題を発見し、適切な指導を受けることが大切です。

言語性を伸ばす指導 絵カードをならべて

「くつを めいでいる」絵カードのあとに「くつを はいている」絵カードを並べると、動きがでます。

靴をはいていることを理解しやすいです。

逆に並べれば、靴をぬいでいることを理解しやすいです。

同じように、

「窓をあける」「窓をしめる」

「服を脱ぐ」「服を着る」

「ボタンをとめる」「ボタンをはずす」

「ゴミを捨てる」「ゴミを拾う」

の絵カードも並べると、動きがで、理解しやすいです。

● ----- ●

漂泊鳥から

今日は卒業式。

6年間の小学校生活、最後の授業です。

大きな舞台に立ちます。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

=====
ことばだより No.12

ことばのもり 2003.3.12
=====

■■■■ INDEX

ことば徒然 エネルギーの源

言語性を伸ばす指導 教科書を使って

■■■■■■■■■■

ことば徒然 エネルギーの源

物を目で追い、そのものに手をのばし、にぎり、もったままふりはじめます。
ものへの興味や関心がエネルギーの一つなのでしょう。

人見知りをし、いつも近くにいてくれる人の後追いはじめます。
守られていることでエネルギーをためていきます。

子どもが大人のまねをし、近くにいる人がその様子を見て対応します。
自分ですると主張し、なかなかできないけれど、自分でしていきます。
周りにいる人がそれを見て「できたね」と声をかけます。
学びつづける中でも、エネルギーを補充していきます。

言語性を伸ばす指導 教科書を使って

1年生のこくご上に「みつけたよ」の題で絵が載せてあります。
この絵を使って、「みつけたよ」作文を書きます。

はじめは、絵を見せて、
「これはなに？」

と問い、何を見つけたのか、応答させます。

答えは単語カードに書かせます。

指導者は「かえるをみつけたよ」と言って、子どもにリピートさせます。

つぎに「どこにいますか？」

と問い、その生き物がどこにいるか、応答させます。

答えは単語カードに書かせます。

指導者は「いけでみつけたよ」と言って、子どもにリピートさせます。

そして「この人はだれ？」

と問い、だれが見つけたのか、応答させます。

答えは単語カードに書かせます。

「おとこのこがみつけたよ」と言って、子どもにリピートさせます。

子どもの「答えた三つを「が」「で」「を」で、つないでみるよ」と言って一文にならべていきます。

「おとこのこ」「が」「いけ」「で」「かえる」「を」「みつけたよ」

はじめは、指導者が組み立ててみて、読んでみます。

子どもにも読ませてみて、ばらばらにします。

「できるかな？文にしてみよう。」

と指示します。

いくつか例示してあげるとできるものです。

● ----- ●

漂泊鳥から

「三寒四温」にはまだまだなような気がします。

「五寒二温」というところでしょうか。しかし、
春遠からず……。すこしずつ、近づいているはず。

「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。

<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

● ----- ●

■■■■ INDEX

ことば徒然 あかつき

言語性を伸ばす指導 教科書を使って

■■■■■■■■■■

ことば徒然 あかつき

あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れ込んできました。
5年の国語教科書の「大造じいさんとガン」に出てくる表現です。
大造じいさんと残雪の戦いの朝です。
いよいよ戦いの始まりです。
大造じいさんからすれば、このときを待っていたんです。
「今年こそ、今日こそ、しとめてやる」と言う思いで、この日を迎えています。
「自分の猟銃の玉が届くところに残雪がきたら、絶対にしとめるぞ」と言う思いで迎えた朝です。
緊張感があります。
ところで「あかつき」と同じ「あけぼの」と言うことばがあります。
あかつきの時間帯とあけぼのの時間帯、どちらがはやいのでしょうか？
また、夕日の色を「あかね色」というが、朝日の色を「あかつき色」と言うのだろうか？

言語性を伸ばす指導 教科書を使って

「みんな なかよし」

1年の国語の教科書はこれではじまっています。
絵を見て、「ここはどこかな？」「子どもの部屋かな？」
「たくさん子どもがいるね。」「1年〇組の子かな？」
「このめがねをかけている子は誰かに似ていない？」
「女の子も誰かに似ていない？」
「みんなで何を見ているのかな？」「おおきいね。」
「何を話しているのかな？」

「この島の名前はなんていうんだろうね？」
と問い、子どもの答えを待ちます。

● ----- ●

漂泊島から
インフルエンザも下火になったかと言うときに、
風邪を引いてしまいました。
みなさんもお気をつけください。
外から帰れば、うがい、手洗いを・・・
「ことばだより」の感想は「もりの掲示板」にお寄せください。
<http://www3.kcn.ne.jp/~ntakashi/cgi-bin/yybbs/yybbs.cgi>
ことばのもり 管理人 漂泊島

● ----- ●